

# 3年生 技術・家庭科（技術分野）

## C 生物育成について

No. 1

教科書

P136～

生物育成とは・・・作物や家畜を大切に管理し、育てること

【ここで学習すること】

- 管理・・・状態を確認し、適切に処理すること
- 育てる・・・生物の成長を記録し、状態をよくして、収穫まで持つていく

☆毎日適切な手入れをし、作物の状態を毎日観察・記録をしながら収穫まで育てていく。という条件から、以下の課題となりました。

## 【課題】 自宅でできる作物の栽培をしよう

### リボーンベジタブルの栽培をしよう

#### 1 リボーンベジタブルとは？

「リボーンベジタブル」 ⇒ 【再生野菜】

略して「リボベジ」

○再生野菜とは・・・野菜の切れ端を使用し、もう一度食べられる状態に再生栽培をする野菜のこと



- (1) 調理の時に切り落とした野菜の切れ端を使う。
- (2) 栽培用の容器は再利用のもの  
①ペットボトルやプラトレイなど  
②浅い皿（陶器やガラスもOK）
- (3) 水を使う

これだけの準備で、十分に育てることができる。

- (4) 再生に適している野菜  
人参、大根、カブ、ネギ、豆苗、小松菜、芽キャベツ、白菜、三つ葉など

## 2 育てる再生野菜を決めよう

### 育てる野菜

(複数の種類を同時に育てる場合は、その種類も書く)

#### 【準備と注意点】

- ① 野菜の旬(育ちやすい季節)を調べよう。
- ② 再生野菜を育てるのに野菜のどの部分が必要か調べよう。
- ③ 自分の家で、育てる場所などの確保をしよう。
- ④ 水は毎日交換する(1日あたり1~2回)

## 3 育てる時の条件

- (1) 野菜には「旬」がある。旬の野菜を選ぼう
- (2) 育ちやすい環境を知る。
  - ① 植物は光合成をする ⇒ 日光の届きやすい場所
  - ② 直射日光は ⇒ 水の温度が上がりすぎて腐りやすくなる
  - ③ 直射日光のあたらない、明るい場所を選ぶ。
  - ④ 室温が20℃前後であること(寒すぎず、暑すぎず)
- (3) 条件により成長の度合いが違う
  - ① 同じ種類を2つ育てる場合は条件を変えて試すのもあり。
  - ② 違う種類を同時に育てている場合は、条件を同じにして比較してみる。
  - ③ 1回で終わらず、2~3回試してみると、より良い方法が見つかる。

## 4 観察記録

栽培期間 4月29日(水)~5月24日(日)のあいだの7~14日間

- (1) 毎日、朝、昼、夕と観察して状態を観察し、記録をとる  
(手間がかからない場合は、朝、夕、または、朝、昼)
- (2) 条件が整っているか毎日確認  
育ちやすい環境になっているか、室温、水の量、日当たりなど
- (3) 成長の様子を記録
  - ① 葉の伸び具合、色、艶など
  - ② 根の様子(伸びた割合、色、生えてきたときの様子)
  - ③ 茎の様子(太さ、色、など)
- (4) 収穫  
収穫して、収穫した再生野菜の状態など
  - ① 調理して味なども違いは無いか確認してみよう



## 5 レポートについて

- (1) 手書きでのレポート用紙または、自分で編集し印刷したレポート  
(印刷できない場合は、文書データで提出も可)  
※電子データで提出する場合は、課題提出日にメディア (SDカードやUSBメモリーなど) を持参する来ること。  
(Wordや一太郎のワープロソフトで作った文書、やPDFデータ化したものがのぞましい。)
- (2) レポートの形式は自由

文書のサイズはA4サイズの縦が望ましい  
(縦書き・横書きは各自工夫してください)

- ① 表・写真・スケッチ・条件・様子など工夫し、様子がわかるようにする  
ただし、栽培期間は毎日記録を取ること。
- ② PC編集 (ワープロソフト) によるレポートも可。(今後のためにも推奨)
- ③ スケッチ、または写真などがあるとよい

- (3) その他

現在、家庭での状況によりなかなかできない場合もあるかと思えます。  
今回は、自宅で出来る栽培の学習を紹介しました。  
ぜひ、チャレンジしてみてください。